

# (仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画

## 一 概要版 一

現在、3市（小平市、東大和市、武蔵村山市）の不燃ごみ及び粗大ごみの破碎等を行っている「粗大ごみ処理施設」は、老朽化や旧式化、環境対策等に課題が生じており、早急な更新（「不燃・粗大ごみ処理施設」の整備）が喫緊の課題となっています。

本計画は、このような背景を踏まえ、組合（小平・村山・大和衛生組合）が循環型社会形成推進交付金を活用して整備する「不燃・粗大ごみ処理施設」の調査・検討を行うとともに、工事に必要な条件を定めたものです。

本施設の「整備方針」は次のとおりです。

### ○「安全、安心かつ安定的に処理が可能な施設」

- ・最新の処理技術を導入し、事故や故障が少なく、維持管理が容易で長期間の耐用性に優れた設備を導入します。
- ・運転監視と日常点検に努め、計画的かつ効率的な維持、補修により、予防保全を強化しながら、高い安定性及び信頼性を有する施設とします。

### ○充実した環境保全対策により、周辺環境に配慮した施設

- ・騒音・振動を低減できる施設とし、周辺環境に配慮した施設とします。
- ・信頼性の高い公害臭気対策設備の導入や、適切な運転管理の継続により、環境保全に取り組む施設とします。

### ○「景観等に配慮した地域との調和の図れる施設」

- ・施設内の緑化や、建物のデザインに配慮することにより、周辺環境と調和した清潔なイメージの施設とします。

### ○「経済性に優れた施設」

- ・廃棄物の減量とリサイクルを前提とした適切な処理方式とするとともに、省エネルギー機器を採用し効率的な運転に努めることで、経済性に優れた施設とします。

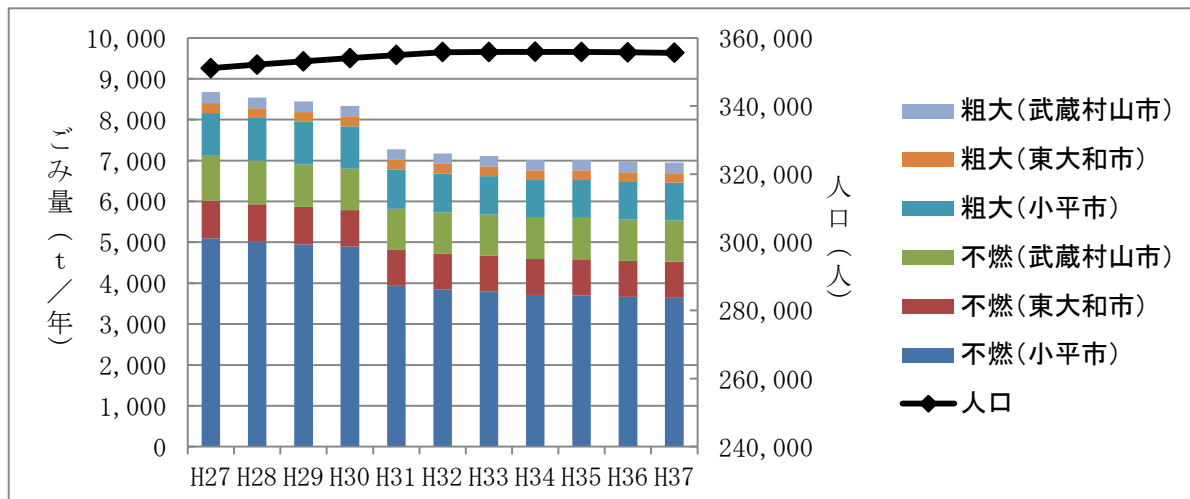
施設は、平成32年度の稼働を目指すものとします。

稼働予定年度

平成32年度

## 【計画処理量と施設規模】

3市の人口は平成34年度まで増加しますが、ごみの減量により、「不燃ごみ」、「粗大ごみ」は、稼働開始予定年度の平成32年度が最もごみ量が多くなります。



不燃・粗大ごみ処理施設の施設規模は、処理量が最も多くなる平成32年度の年間計画処理量に基づき、算定しました。

品 目	計画処理量	施設規模
不燃ごみ	5,735 t/年	26.6 t/日
粗大ごみ	1,437 t/年	6.6 t/日
合 計	7,172 t/年	33.2 t/日 ≒34.0 t/日

※施設規模＝（計画処理量×計画月最大変動係数）／年間稼働日数

## 【ごみ処理処分】

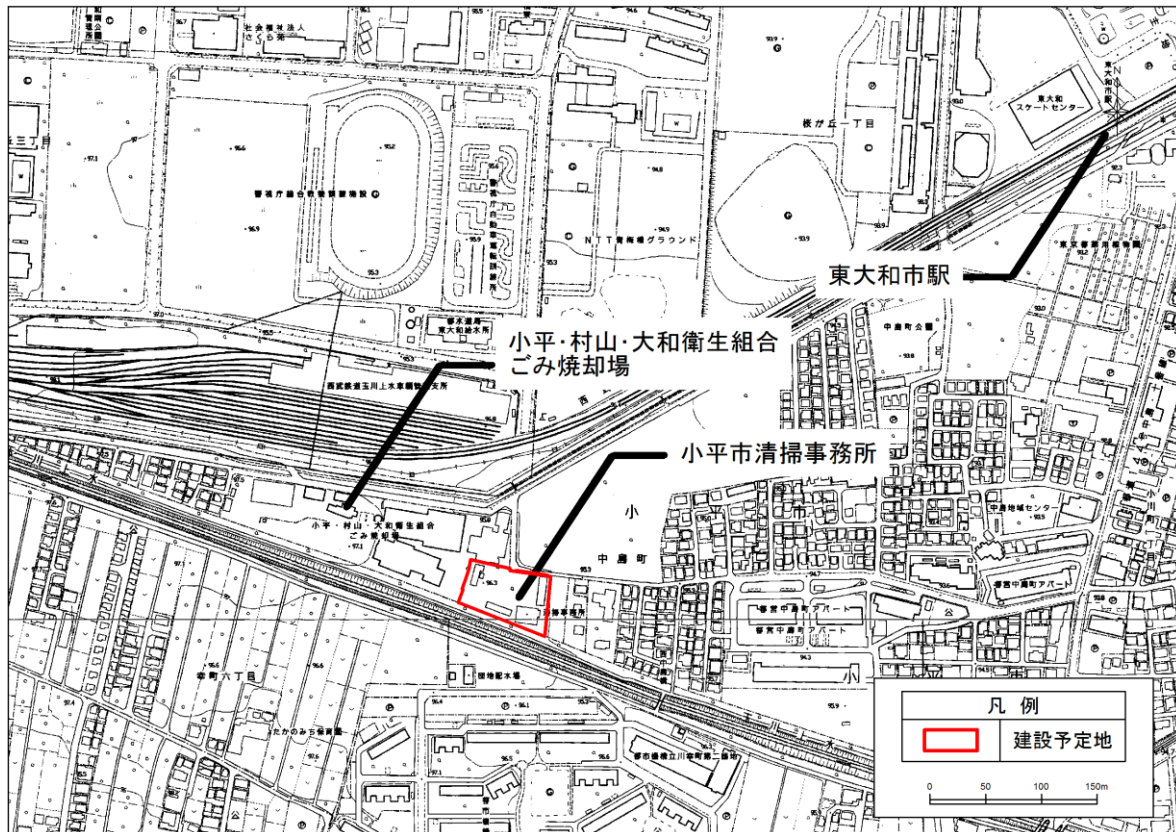
処理対象となるごみ種（主な対象物）、搬入形態及び搬入車両は、以下のとおりです。

ごみ種	主な対象物	搬入形態	搬入車両
可燃性粗大ごみ	畳、布団、クッション、洋服たんす、カーペット(じゅうたん)	収集もしくは直接搬入	平ボディ車、ダンプ車、乗用車
不燃性粗大ごみ	自転車、いす、石油ストーブ、石油ファンヒーター、照明器具	収集もしくは直接搬入	平ボディ車、ダンプ車、乗用車
不燃ごみ	ガラス製品、陶磁器、金属類、化粧品のびん、小型の電気器具、なべ、電球	収集もしくは直接搬入	パッカー車、平ボディ車、ダンプ車、乗用車

※不燃性粗大ごみ、スプリングマットレス、小型家電、プラスチック及び金属性粗大は、搬入車が別の指定場所に搬入し、他のごみと分離して貯留しています。

## 【施設用地の概要】

施設は、組合に隣接する小平市の清掃事務所（東京都小平市中島町2番2号）を解体した跡地に建設する予定です。

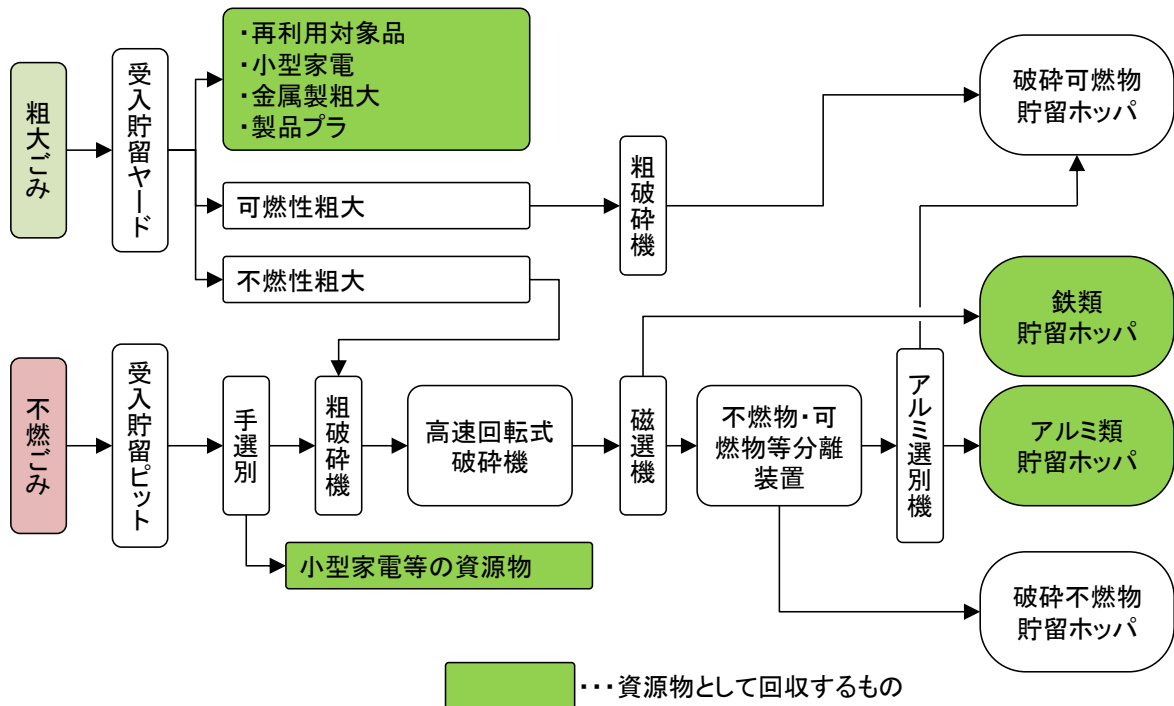


住 所	東京都小平市中島町2番2号
都市計画区域の内外の別	都市計画区域内
防火地域	準防火地域
面 積	約3,690㎡
用途地域	準工業地域
指定容積率	200%
指定建ぺい率	60%（風致地区範囲内は40%以下）
高度地区	第2種高度地区
日影規制	4h-2.5h（測定面：4m）

## 【処理方法】

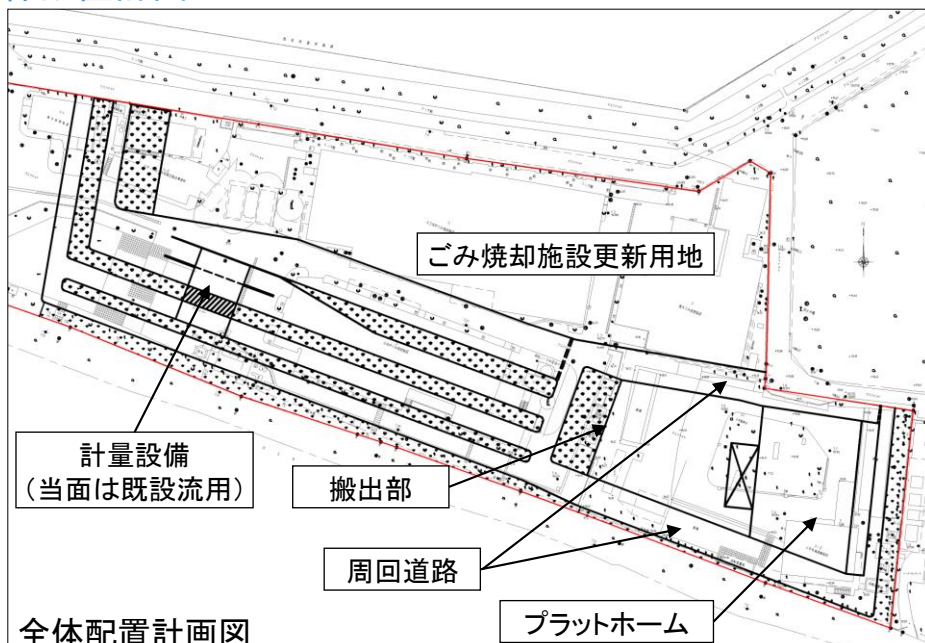
粗大ごみは、主として可燃性材料で構成されているもの、不燃性材料で構成されているもの、複数の材料で構成されているもの等、様々な材料構成で搬入されます。破碎処理が効率的かつ安全に行うことができるよう受入選別貯留ヤード及び前処理作業場等を設けて必要な前処理を行います。

不燃ごみは、スプレー缶やガスボンベ等の爆発性危険物や、破碎処理困難物が混入している可能性もあるため、防爆対策として粗破碎機（爆発防止機能付）を設置します。手選別ラインの設置は、工事発注準備段階で方針を決定します。



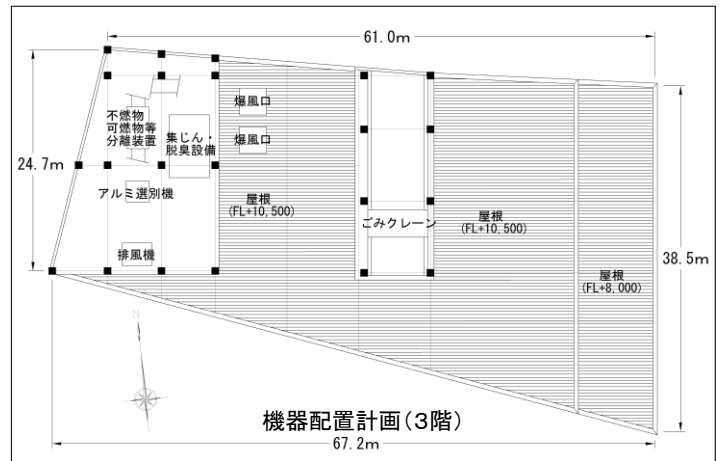
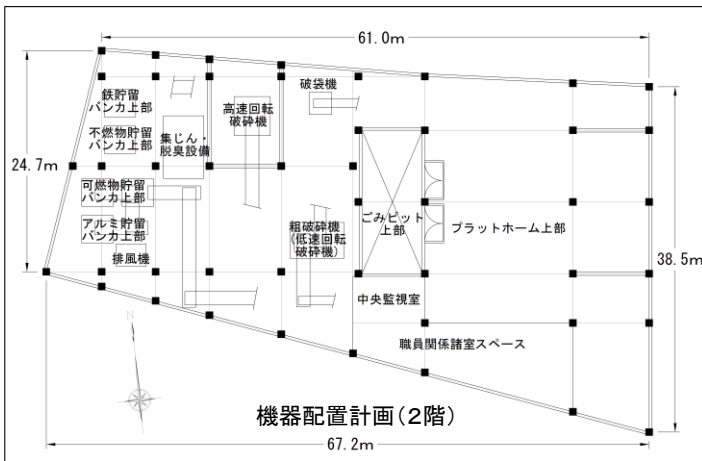
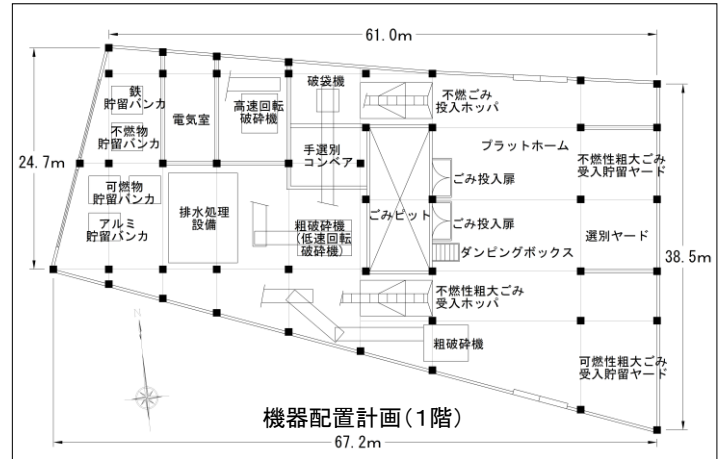
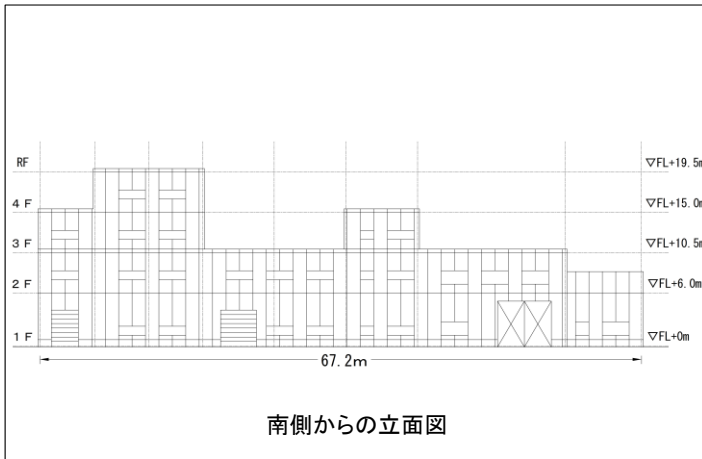
## 【配置計画案】

### ① 全体配置計画



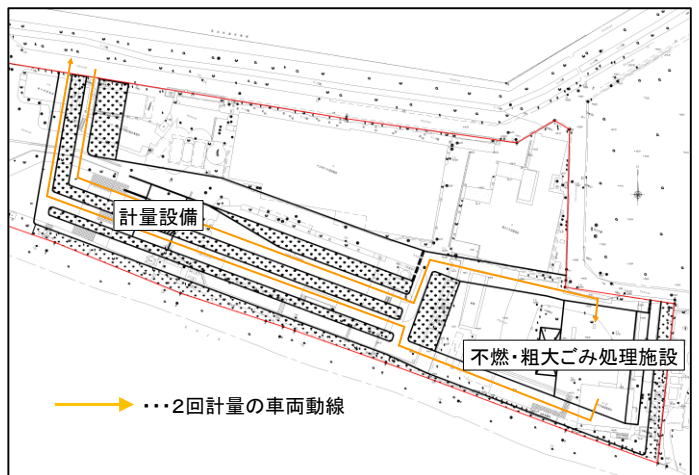
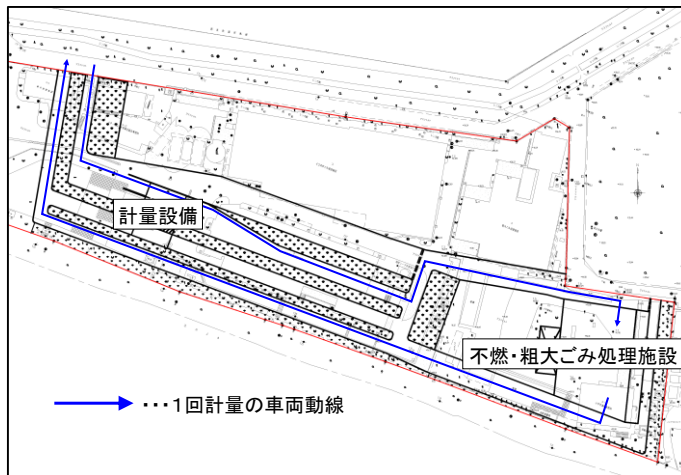


## ② 機器配置計画



## ③ 動線計画

組合では、粗大ごみ処理施設の更新後にごみ焼却施設の更新を計画しています。そのため、本計画においては、ごみ焼却施設の更新計画やストックヤード等の関連施設の更新計画との整合を図ります。



## 【公害防止条件】

### ① 騒音・振動

本施設の操業に伴う騒音・振動の基準は「騒音規制法の規定に基づく指定地域の規制基準（平成24年3月23日小平市告示第41号）」「振動規制法の規定に基づく特定工場の等の規制基準（平成24年3月23日小平市告示第45号）」を順守するものとします。

騒音	昼間	朝、夕	夜間
	午前8時～午後7時	午前6時～午前8時 午後7時～午後11時	午後11時～翌日の午前6時
	50dB(A)以下	45dB(A)以下	45dB(A)以下

振動	昼間	夜間
	午前8時～午後8時	午後8時～翌日の午前8時
	65dB以下	60dB以下

### ② 臭気

本施設の操業に伴う悪臭の基準は、「悪臭防止法の規定に基づく悪臭の規制基準（平成24年3月23日小平市告示第47号）」を順守するものとします。

敷地境界	排出口	排水
臭気指数：12以下	排出口の実高さ及び口径により基準が異なる。	臭気指数：28以下

### ③ 下水道排除基準

本施設からの生活排水は、公共下水道に直接排除するものとします。また、プラント排水（ごみピット汚水含む）は、小平市下水道条例に基づく排除基準を順守する処理を行い、公共下水道に排除するものとします。

### ④ 粉じん

本施設の操業に伴う粉じんの基準は、以下のとおりとします。

場所	基準値
排出口	0.1g/Nm <sup>3</sup> 以下

## 【環境啓発機能案】

主たる啓発設備は、更新予定の焼却施設で整備することが望ましいため、本施設の啓発機能設備は、『施設見学（環境学習）』を中心とします。

対象者	啓発設備計画の対象者については、現在の施設見学の実績から主に小学生を対象とします。ただし、他自治体からの視察や市民団体、一般来場者等の来場も見込まれることから、一般来場者も考慮した啓発設備計画とします。
安全性	見学者の安全性を考慮して、見学者窓は強化ガラスを採用します。 また、障がい者や車いす利用等の見学者にも支障がないように、施設見学のルートはバリアフリーとします。
見学案内	円滑な見学及び安全管理のため、有人による施設案内を基本とします。
設備計画	会議や地域住民が使用できる会議室を配置します。

## 【運営計画】

施設の整備は「公設民営（長期包括的運営委託）方式」を基本として事業を進めます。

## 【財源計画】











ごみ処理施設を整備するための財源としては、環境省の循環型社会形成推進交付金を利用します。交付率は1／3ですが、交付対象事業費のうちの交付金を除いた金額（2／3）の90％は一般廃棄物処理事業債を利用します。

[単位：千円]

分類	交付対象	交付対象外	合計	備考
工事価格	2,420,000	363,000	2,783,000	
交付金	806,000	—	806,000	交付率1／3
起債	1,452,600	247,500	1,700,100	充当率 交付対象90％ 交付対象外75％
一般財源	161,400	115,500	276,900	

## 【事業スケジュール】

本事業の事業スケジュールは、下表のとおりです。

項目		年月					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
施設稼働							
調査・計画業務	1. 施設整備基本計画						
	2. 生活環境影響調査						
	3. 工事発注準備						
	4. 長期包括的運営事業適用可能性調査・発注支援業務						
建設工事	5. 施工建設工事入札事務・契約						
	6. 設計期間						
事関連	7. 小平市清掃事務所解体撤去工事						
	8. 新施設建設工事						

※ 今後の状況により、変更される場合があります。

(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画：平成28年(2016年)2月発行  
編集・発行 小平・村山・大和衛生組合

〒187-0033 小平市中島町2番1号  
電話番号：042-341-4345  
ファクシミリ：042-343-5374  
電子メール：info@kmy-eiseikumiai.jp